

# 裸押合い大祭の 越後浦佐毘沙門堂

上杉謙信公、上杉景勝公、直江兼続公ゆかりの寺

別当 吉祥山 普光寺

## ■山門(仁王門)

吉祥山の山号を記した山門は今からおよそ180年前、文政3年(1820年)に起工し、天保2年に竣工した。山門は日光の陽明門を型どり、12年の歳月と10万余の信者の奉仕によって建立された。



## ■浦佐毘沙門堂

今からおよそ1200年前、大同2年(807年)、坂上田村麻呂が東夷征討のおり、国家鎮護を祈念して創建したと伝えられている。昭和6年炎上したが多数の信者の浄財により5か年の歳月を要し、現在の堂が完成した。設計は伊東忠太博士(文化勲章受賞)によるものである。

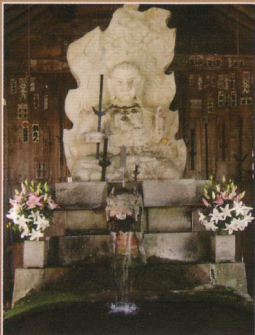


## ■双龍図板絵(八方ニラミの龍)

山門の天井には江戸下期を代表する絵師 谷文晁作の龍が力強く描かれている。

## ■不動明王

当山の不動明王は石像仏としては日本最大といわれており、明治初年に六日町の石工富八郎により作られた。うがい鉢は当地大崎の坊谷山産出の大石をくりぬいて作られた。



## ■常瞿梨童女(じょうぐりどうによ)

観音菩薩の化身で衆生の諸毒を除くというこの仏像は、全国的にも極めて珍しい。七頭四臂、緑色の龍女形で、手には孔雀の羽や黒蛇を握っている。魚沼地方では、ツツガ虫によって落命する人が多かったため諸毒抜除の願いからこの尊像が祀られるようになった。

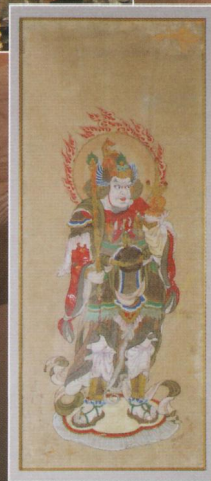


## 裸押し合い祭り

毎年3月3日、雪中の裸押し合い祭りは全国3大奇祭の1つ。冬のさなかに不動尊前のうがい鉢の湧水で身を清め、押し合う信者の熱気あふれる祭りは古式そのままの祭事として、今も引き継がれ行われている。

## ■多間天(十二天画像)

仏教の護法善神で、密教の重要な儀式を行う道場を守護する役割を担っている。十二天画像が揃っているのも貴重である。



## ■天女の舞絵姿

山門2階天井には、極彩色豊かな天女の美しく舞う姿絵が二十三枚見られる。2階は常時部(しとみ)を下ろしており、描かれた当時そのままに保存されている。



越後浦佐 毘沙門堂

別当 吉祥山 普光寺

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐2495 電話025-777-2001

ホームページ <http://www.bisyamonnosato.com/>

●内陣参拝及び寺宝館は有料 ●拝観受付/午前9時30分から午後4時30分

交通のご案内

- 関越自動車道 六日町ICより……………車で15分
- 大和スマートIC(ETC専用)より……………車で5分
- 小出ICより……………車で10分
- ※隣接地に駐車場あり……………普通車40台、バス4台
- 上越新幹線浦佐駅下車…毘沙門堂口より徒歩5分